

大東市立南郷小学校長寿命化改良工事基本・実施設計業務委託に係る公募型プロポーザル 選定経過及び審査講評

はじめに

今回のプロポーザルは、建築後約50年が経過して施設の老朽化・社会的劣化等が進行している大東市立南郷小学校の長寿命化改良工事基本・実施設計業務を委託するにあたり、長寿命化改修の特質上、設計段階における創意工夫の重要性に鑑みて、豊富な経験と高い技術力そして専門的な知識を有し、且つ良質な業務実施体制の下、発想力豊かな提案を行うことができる設計事業者を選定することを目的として実施したものです。

募集に先立ち、令和5年2月14日(火)、第1回選定委員会を開催し、募集要領や評価要領等について審議を行いました。昨年度に実施した大東市立諸福小学校の設計業務に続いて2回目となる今回のプロポーザルでは、技術的に最適な設計事業者をより適切に選定できるよう、評価項目ごとの配点の見直し等を行いました。

2月21日(火)公募を開始し、約3カ月の間にわたる手続きを経て、この度、以下に示すとおり、最優秀提案者及び優秀提案者を選定しましたので、選定経過、審査講評とともに公表いたします。

1. 大東市立学校施設整備基本設計等事業者選定委員会

(委員構成)

役職	氏名	備考
委員長	水野 達朗	大東市教育長
委員	松本 裕	大阪産業大学 デザイン工学部 建築・環境デザイン学科 准教授
委員	草宮 利一	一般財団法人 大阪建築防災センター 建築確認検査機構 枚方支所 支所長
委員	所 千夏	一級建築士事務所 アトリエ CK 代表 大東市景観アドバイザー 公益社団法人 大阪府建築士会 理事
委員	森田 幸夫	大東市立南郷小学校 教頭
委員	岡本 功	前大東市立住道中学校長
委員	小川 直樹	大東市都市経営部資産経営課 課長補佐

2. 選定経過

(1) 参加表明書等(一次審査)受付期間

令和5年3月9日(木)～3月16日(木)

(2) 参加表明

7事業者

(3) 一次審査(書類審査)

事業者から提出された各書類の内容から、評価要領に基づき、以下の評価項目について審査を行いました。書類審査のため、あらかじめ事務局で審査を行い、得点上位3事業者を技術提案書等の提出者として選定し、選定委員会各委員に報告しました。(全委員了承)

なお、2回目となる今回のプロポーザルでは、評価項目ごとの配点を見直すとともに、同種又は類似業務の実績として評価の対象となる施設の範囲を拡大し、小・中学校の大規模改造設計や長寿命化改良設計に加えて、教育文化施設・医療施設・福祉施設・商業施設の大規模修繕設計も評価の対象としました。

(一次審査 評価項目と評価基準)

	評価項目	評価基準	配点
(1)	管理技術者を除く配置予定技術者の資格	主任技術者が保有する資格	5点
(2)	過去10年間の同種又は類似業務の実績	管理技術者等が過去10年間に完了させた同種又は類似業務の実績	10点
(3)	事業者の過去10年間の受賞歴	過去の受賞歴	10点
(4)	CPDの取得単位の状況	管理技術者、主任技術者が取得している建築CPDの実績	5点
			合計 30点

(一次審査結果) ※事業者名は、申し込み順にアルファベット(A～G)で表記しています。

事業者名	得点	審査結果
A社	7.4	
B社	21.4	一次審査通過
C社	7.7	
D社	12.8	
E社	23.5	一次審査通過
F社	14.4	
G社	19.6	一次審査通過

(4) 二次審査(ヒアリング審査)

一次審査(書類審査)を通過した3事業者より技術提案書、価格提案書の提出を求め、以下の評価項目について審査を行いました。技術提案の内容については、下記の日程でプレゼンテーション(25分)及びヒアリング(25分)を実施し、各事業者の取組方針や創意工夫、提案の的確性・独創性・実現性等を審査しました。二次審査では、評価の公正性・公平性を確保するため、技術提案書の記載上でも、又、プレゼンテーションの際も事業者名を匿名として審査を行いました。なお、2回目

となる今回のプロポーザルでは、テーマの重要性に鑑みて、評価テーマ①「子どもたちの生命を守り抜く安全・安心な教育環境の整備について」の配点の見直しを行っています(10点➡15点)。

(プレゼンテーション及びヒアリングの実施)

開催日時: 令和5年5月12日(金) 午後1時から5時まで

開催場所: 大東市立市民会館5階 教育委員会研修会議室

(二次審査 評価項目と評価基準)

	評価項目	評価基準	配点
(1)	業務実施方針	・業務の理解度及び取り組み意欲(配点:4点) ・実施方針の的確性、独創性、実現性等(配点:6点)	計10点
(2)	評価テーマに対する技術提案	①子どもたちの生命を守り抜く安全・安心な教育環境の整備について	15点
		②新しい時代の学び舎となる柔軟で創造的な学習空間の整備について(以下の2点) Ⅰ. 課題点などの指摘 Ⅱ. 柔軟で創造的な学習空間の整備	15点
		③インクルーシブ教育システムの理念を具現化する教育環境の整備について	10点
		④円滑な学校運営と工期遵守を両立させる整備の手法について	10点
		⑤脱炭素社会の実現に貢献する持続可能な教育環境の整備について	5点
(3)	価格提案	見積書の受注予定金額	5点
			合計 70点

3. 選定結果

最優秀提案者: 株式会社小河建築設計事務所

優秀提案者: ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社

(二次審査結果) ※最終得点が57点に満たない場合は契約候補者として選定しないこととしています。

評価項目		配点	B社	E社	G社
一次審査	管理技術者を除く配置予定技術者の資格	5	5	4	3.6
	過去10年間の同種又は類似業務の実績	10	10	9.5	10
	事業者の過去10年間の受賞歴	10	6	10	3
	CPDの取得単位の状況	5	0.4	0	3
	小計	30	21.4	23.5	19.6
二	業務の理解度及び取り組み意欲	4	3.08	3.2	3.44
	実施方針の的確性等	6	4.26	4.8	5.46

次 審 査	評価テーマ①	15	9.9	12	12.45
	評価テーマ②	15	9.45	11.1	13.35
	評価テーマ③	10	6.9	7.1	8.3
	評価テーマ④	10	6.6	7.1	7.7
	評価テーマ⑤	5	3.7	4	4
	価格提案	5	1	1	1
	小計	70	44.89	50.3	55.7
合計(最終得点)		100	66.29	73.8	75.3
選定結果				優秀提案者	最優秀提案者

4. 審査講評

先にも述べたとおり、今回のプロポーザルでは、評価テーマ①「子どもたちの生命を守り抜く安全・安心な教育環境の整備について」の配点を見直しましたが、最優秀提案者である㈱小河建築設計事務所様は、現地見学会の際に施設の細部まで確認し、子どもたちの多様な動きを想定して、具体的且つ的確に危険箇所改善に関する提案をされていました。また、全室二方向避難実現のための屋外階段設置という提案は、南郷小学校の課題を的確に捉えているものでした。

開放的で大空間となるメディアセンター「なごのヒロバ」は、子どもたちが自分の好きな場所を見つけ好きな時間を過ごすことができる場所として、運動場や職員室横の多目室とのつながりも含め、非常にクリエイティブな提案であると評価されました。学校のなかに子どもたちの居場所をつくるという視点は、新しい時代の学び舎を整備していくうえで重要なものであり、今回の施設整備を通じて、多くの子どもたちにワクワクした気持ちで登校してもらえないかと期待を抱かせる提案となっていました。

全体の配置計画を見ましても、オープンスペースを持つ学年ユニット、各特別教室、特別支援教室・通級指導教室、教材庫・児童更衣室等が、子どもたちの交流あるいは円滑な学校運営という観点で見た場合にとってもバランスよく配置されていましたし、それらをバランスよく配置するなかで、今回のプロポーザルで提案を求めている集中下足室の整備についても、現在の校務室を取り込む形で下足室エリアの確保を図り、本市の希望に叶う提案がなされていました。

ファシリテーターと協働しながらリードユーザーの視点を取り入れインクルーシブデザインの導入を検討するという設計手法については、過去に行った実績はないとのことでしたが、様々な特性を持つ子どもたちが日々不便を感じることなく学校生活を送れるよう、有効に活用されることを期待します。

工夫されたプレゼンからは強い熱意が感じられ、また現場視点で丁寧に課題を発見していく設計事業者としての誠実さも伝わり、最優秀提案者として高く評価される結果となりましたが、小河建築設計事務所様の技術提案については、西側のデッドスペースに増築する職員室改修工事の工期が、学校繁忙期である年度末の時期に設定されている点を懸念する意見もありましたので、その点については、実際の設計業務にあたり、学校関係者と綿密に意見の擦り合わせを行い、円滑な学校運営に配慮した改修計画となるよう、真摯に取り組んでいただきたいと思います。また、学年ユニットに組み込まれるオープンスペースの配置場所や、近接する学年の組み合わせ等についても、子どもたちの交流が生まれる新しい教育空間となるよう、教育現場の生の声を十分に反映していただきたいと思います。

次に、優秀提案者であるジェイアール西日本コンサルタンツ㈱様は、小学校長寿命化工事の設計業務を始め、商業施設や公共交通施設等、多種多様な新築・改修設計の経験が豊富であり、プレゼンを拝聴した結果からも、全ての委員が、「信頼して今回の設計業務を委託できる」という認識を持ちました。学校内での子どもたちの事故を防止するという視点でも網羅的に的確な提案がなされており、また、バリアフリー法の特別特定建築物である公共交通施設の設計経験が豊富であるという実績は、多

様な子どもたちが支障なく安心して学校生活を送ることができる環境を整備するという提案を、より説得力のあるものとしていました。

その他の提案内容を見ましても、「2クラス+1多目的室」の学年ユニットは、子どもの発達段階やカリキュラム、少人数学習等に柔軟に対応できる学習空間として評価できるものでしたし、「ひだまり庭園」そして「なかよしテラス」とのつながりを持つ開放的な図書室についても、子どもたちに居場所を提供するものとして魅力ある空間となっていました。創造性あるいは改修後の学校の姿をイメージした際の期待感という点で最優秀提案者と比べて優位となる評価は得られず、優秀提案者として選定される結果となりました。

5. 最後に

今回のプロポーザルの実施にあたりましては、前回の大東市立諸福小学校に引き続き、多くの事業者様にご参加いただき、誠にありがとうございました。特に、プレゼンテーションに臨まれた3事業者様におかれましては、現地見学会への参加をはじめ、技術提案書の作成にあたり多くの時間と労力を費やされたことと思います。二次審査の結果、惜しくも最優秀提案者・優秀提案者に選定されなかった事業者様からも、既存の校舎のあり方を尊重した優れた提案をしていただき、審査委員一同、皆さまの真摯な考察と創意工夫をこらした貴重な提案に心より厚く御礼申し上げます。

この後、選定された設計事業者様により、当該設計業務が進んでいくこととなりますが、開校130周年を迎えた南郷小学校の歴史と伝統が継承され、地域の方に愛され、そして子どもたちの原風景として、いつまでも強く心の中に楽しかった印象が残るような学習空間が整備されることを期待したいと思います。

令和5年5月30日

大東市立学校施設整備基本設計等事業者選定委員会
委員長 水野 達朗